



さかた よしお
坂田芳郎 議員
SAKATA Yoshio

Q. 中学校移転話の進捗状況を伺う

A. 建設場所を検討している

方々の指摘を受け、明言をお願いしたい。令和2年10月、町長は「住みたいまち、住み続けたいまち」を目指して、と称して一人ひとりが大切にされる新しい豊山をつくる6つの約束「なる具体策を唱えた。其の一つ。「豊山中学校を移転・新築します。」と。決意をもって断言なされた。この件につき、伺う。広報とよやま 令和4年9月号特集に於いて「目指すべき中学校のあり方」がまとまりました。冒頭において、「改築整備を前提とした検討を進めています。」と。然し乍ら、町公式HP掲載「目指すべき中学校のあり方 令和4年8月 豊山町中学校施設整備基本構想会議」／56ページに及ぶ最終まとめ案資料にあつては、その改築整備とは、「建設候補地」の検討をも含めた協議内容の掲載となっている。「豊山中学校改築候補地比較表」にあつて 1、現豊山中学校 2、

豊山スカイプールと駐車場、豊山グラウンド 3、その他として、16項目に及ぶ詳細な比較表を作成し解説している。 ここで尋ねる。 「豊山中学校改築候補地」 。ここで言う改築候補地なる文言の意味を伺う。 A 現行の中学校の校舎を取り壊して、新たに校舎を建てる際に、どこに建てるか、その候補地という意味です。 Q 要するに、移転するのかしないのか。一言にてご答弁願いたい。 後、理由を伺う。 A 建設場所については、豊山町中学校施設整備基本構想会議で意見を伺うなどして現在検討しているところでありませう。 Q 其の理由を伺う。 A 目指すべき中学校のあり方について何が最適か、建設場所を含めフラットな立ち位置で検討しております。

昨年8月に豊山町中学校施設整備基本構想会議によりまとめられた「目指すべき中学校のあり方」では、改築候補地について、敷地面積、通学距離、工事期間中の学習生活環境等、複数の要素を基に検討することが必要とされてい

ます。 教育委員会としては、こうしたことを踏まえながら慎重に建設場所を検討しているところでありませうので、ご理解いただきますようお願いいたします。



本人の申し出により、編集せず原文のまま掲載しています。